

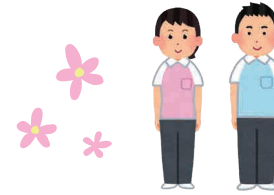
事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

嘱託職員

嘱託体育指導員、嘱託栄養士、嘱託調理員、生活支援員補助、相談員、調理補助



お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 ➡ @nagoya_rehab

事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE ROAD

2020年
冬号
vol.23



事業団公式マスコットキャラクター
りはみん

INDEX

- ◆ 介護ロボット
あいち・なごやフォーラム2019
- ◆ 事業団社会貢献活動
(陽明小学校・給食会)
- ◆ りはみんサロン(居場所・サロン事業)
(8~10月報告)
- ◆ 相談支援体制連携調整委員会
- ◆ イベント情報
- ◆ 募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



介護ロボットあいち・なごやフォーラム 2019

今年も盛会
でした!

62機種の最新ロボットが大集合

11月5日(火)吹上ホールにて「介護ロボットあいち・なごやフォーラム2019」を開催しました。

このフォーラムは、厚生労働省の「介護ロボットの普及拠点事業」として、各都道府県47カ所が実施するもので、愛知県での開催には、昨年に続き私たち事業団が実施機関として採択いただきました。

人材不足が深刻な介護現場で、介護ロボットを活用した新しい介護に期待が高まる中、フォーラムでは最新の介護ロボット62機種・40社の体験展示・相談・試用貸出受付を行い、自治体の取り組み紹介や、介護現場のニーズを踏まえた活用事例を報告するシンポジウムも同時に開催しました。

今回のフォーラム・シンポジウムのテーマは『共創』と掲げました。介護ロボットを取り巻く当事者・家族・専門家らが『共』に皆で、介護ロボットの場(居場所・市場・地域拠点)を『創』り上げていくことが普及への過渡期である今、重要と考えています。



吹上ホールの第1ファッション展示場にて、昨年よりも規模・内容を拡大した企画をし、総勢470名の来場者をお迎えしました。

ステージエリアでは、午前はメーカー10社による介護ロボットのプレゼンテーション、午後のシンポジウムでは、事業団山田副理事長の力強い開会あいさつに続いて、10名の登壇者による介護ロボット普及に向けた講演をしていただきました。

また、展示エリアでは賑やかな雰囲気の中、来場者の皆さまに最新の介護ロボットを実際に見て・触れて・体験していただきました。

一般に介護ロボットと聞きますと、人型のロボットや体に装着する外骨格パワードスーツ(事業団理学療法科でも活用しているHAL® など)を想像しがちです。しかし、厚生労働省事業の介護ロボットの定義では「①情報感知 ②判断 ③動作」をする機器と定められ、見守り・コミュニケーション支援といった分野や介護情報を統合支援するシステムまでも



が介護ロボットに分類されます。

今後は5G通信やAIを活用した介護支援や、自立支援の介護ロボットが期待されています。

これまで培われた介護技術に、新しく科学技術を活用した介護環境に変化・スイッチしていく時期が来ています。これにはエネルギーときっかけが必要です。介護ロボットが介護する人・される人・その周囲の人へスムーズに浸透し、日常介護の中で「あれば便利なロボット」から「不可欠なロボット」に転換していくようコーディネートしていく取り組みにまい進していきます。

今回のフォーラムの準備から当日応援まで「共創」くださった皆さまに、誌面をお借りして感謝いたします。ありがとうございました。これからもロボットの開発・普及に向けた事業に取り組みます。ご支援ご協力をお願いします。



メディア・放送

● NHK総合
(まるっと!：夕方ニュース)
令和元年11月5日 18:10~19:00
「ロボで介護現場の負担軽減へ」

● 朝日新聞
令和元年11月6日 朝刊
「介護ロボットの最新機種を紹介」

● 中日新聞
令和元年11月6日 朝刊
「介護ロボ62種 技比べ／千種で40社フォーラム」



Pick Up!

陽明小学校への協力について

6年生総合学習の時間

9月10日(火)陽明小学校体育館にて、6年生の児童を対象に体験学習を行いました。皆さんにはまずアイマスク体験をしていただき「見えない」状態で体育館内を歩いてもらいました。その後、視覚支援課職員より視覚障害について、視覚障害当事者として日常生活の様子や困り事や共生社会についてお話ししました。

参加された児童の皆さんからは多数の質問が出るなど、集中して取り組んでいただけたようでした。



2年生学区探検

10月11日(金)2年生がリハビリセンターの見学を行いました。

「わたしの町はっけん」というテーマで、学区で働く人の様子を見学しインタビューをしていただきました。当日は看護科と理学療法科を見学していただきました。2年生の皆さんがインタビューをし、一生懸命メモを取る姿が印象的でした。



事業団社会貢献活動について

9月26日(木)に瑞穂生涯学習センターにて開催された、井戸田学区にお住いの独居高齢者を対象とした給食会にて講座を開催しました。

今回は瑞穂区社会福祉協議会より依頼があり、協力という形でリハビリセンターの専門職による講義を行いました。参加者の皆さんが簡単にできる運動や、体を動かすことに興味があるとのことでしたので、当日は事業団理学療法科の協力で「いつまでも元気に暮らすために」をテーマに講義を行いました。70代から90代の約30名の方にご参加いただき、講義と体操をした後お昼ご飯をご一緒させていただきました。

参加された皆さんは、体操に熱心に取り組まれました。



Pick Up!

瑞穂区社会福祉協議会への協力について

りはみんサロン報告

8/6 (火)

介護保険の豆知識

今回はケアマネジャーによる介護保険についての講座を開催しました。当日は35度を超える猛暑日でしたが、41名の方にご参加いただきました。

講義では、介護保険のサービスの種類やその内容、利用方法やケアマネジャーの役割など、幅広い範囲にわたって紹介させていただきました。参加された方の介護保険に対する関心はとて高く、最初から最後まで熱心に講義を聞かれていました。



9/3 (火)

切り紙アートのお花カード作りと便利な福祉用具の紹介



今回はなごや福祉用具プラザによる福祉用具の紹介と、お花カード作りの体験をしていただきました。当日は31名の方にご参加いただきました。

前半はペットボトルを開けやすくする用具や、聞こえを補助する用具など、家庭で使える福祉用具を中心に何点か紹介しました。後半は紙で作ったお花や、押し花を使ったカード作りを行いました。皆さんはそれぞれ飾りの配置などを工夫し、さまざまなカードが完成しました。

10/1 (火)

インフルエンザのウソ? ホント?

~予防は正しい理解から~

今回はリハビリセンター附属病院の成田副院長によるインフルエンザや、その予防についての講義を行いました。当日は27名の方にご参加いただきました。講義の途中でインフルエンザに関する〇×形式のクイズや、マスク正しいつけ方などを体験していただきました。

講義を通じてインフルエンザなどの予防に対する正しい理解を深めていただくことができたのではないかと思います。

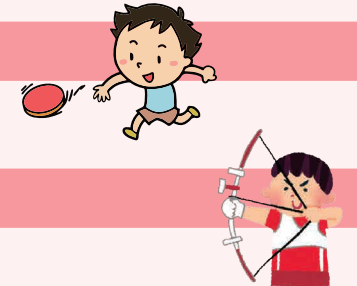




イベント情報

スポセンディスクドッチ大会

日時：令和2年1月26日(日)



第38回 東海障害者インドア・アーチェリー大会

日時：令和2年2月9日(日)

センターまつり

日時：令和2年2月16日(日)

場所、対象者、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。
問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター 電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

上記の他、大会情報は随時事業団ウェブサイトに掲載しますので、ぜひご覧ください。

後期家族介護者教室 らくらく介護のすすめ～介護体験講座～

対象者：介護に関心のある方
名古屋市内北部・東部・西部・南部・中部で実施。各4回。

◆ 南部介護者教室 場所：名古屋市総合リハビリテーションセンター 定員：20名

- ①令和2年 1/22 (水) 腰のらくらく ～起き上がりと移乗の基本を学ぼう～
- ②令和2年 1/29 (水) 食事のらくらく ～無理のない食習慣とお口の健康を心がけよう～
- ③令和2年 2/5 (水) トイレのらくらく ～もれない・もらさない いきいき生活のすすめ～
- ④令和2年 2/12 (水) 災害時のトイレ問題、備えていますか？



◆ 中部介護者教室 場所：なごや福祉用具プラザ 定員：20名

- ①令和2年 2/25 (火) 高齢者の生活について身近な相談窓口を知ろう
- ②令和2年 3/3 (火) 腰のらくらく ～起き上がりと移乗の基本を学ぼう～
- ③令和2年 3/10 (火) 食事のらくらく ～無理のない食習慣とお口の健康を心がけよう～
- ④令和2年 3/24 (火) トイレのらくらく ～もれない・もらさない いきいき生活のすすめ～



時間、場所、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。
問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://www.nagoya-rehab.or.jp>

令和元年度 第1回 相談支援体制連携調整委員会 愛知県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

10月16日(水)に、愛知県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業「令和元年度 第1回相談支援体制連携調整委員会」を開催しました。

この委員会は、愛知県内の高次脳機能障害の方への支援を充実させるために、実態把握や関係機関の連携、普及啓発活動などについての検討を行うもので、年2回開催されています。

委員会には、学識経験者や医療・福祉機関、当事者団体、愛知県、名古屋市、支援拠点機関から21名の委員に出席していただいています。なお愛知県の支援拠点機関は、当センターと高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓の2カ所あり、専門的な相談支援や関係機関との連携・調整、普及促進を行っています。

令和元年度 第1回 相談支援体制連携調整委員会 議題の動向

- 1 国の高次脳機能障害支援普及事業の動向
- 2 愛知県における高次脳機能障害者の

1 国の高次脳機能障害支援普及事業の動向

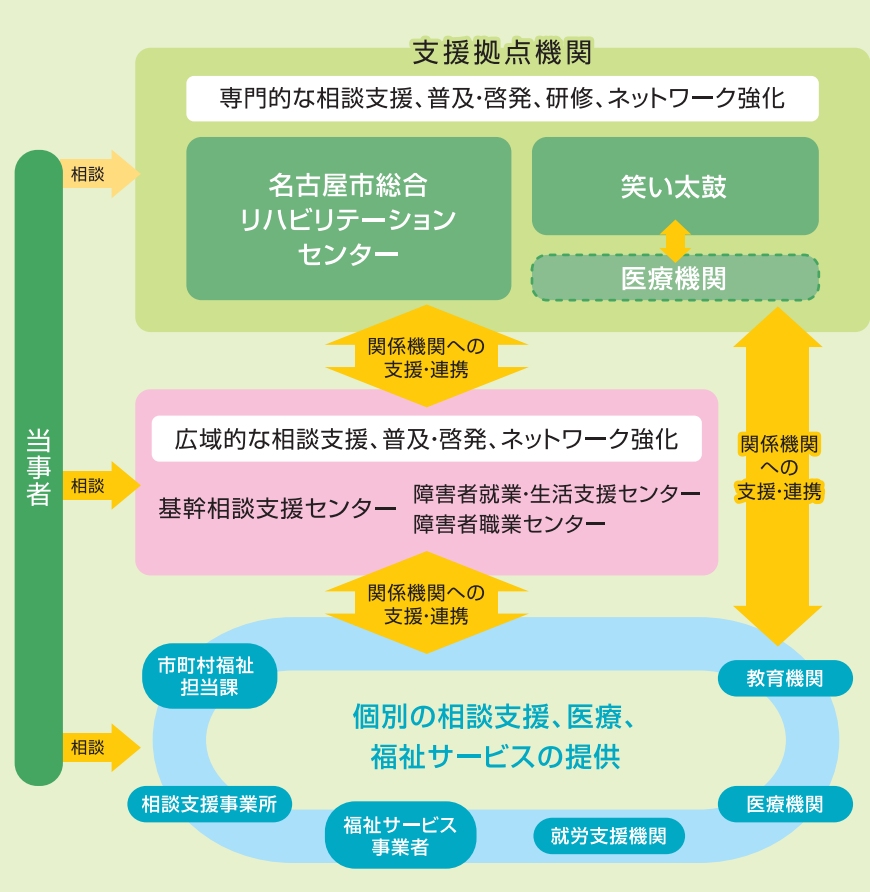
議題2では、今年度から高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓が2カ所目の支援拠点機関となったため、新しい愛知県の支援体制図が示されました。

また議題4では、今後の取り組みとして、ワーキンググループを設置して次の内容の検討をすることが確認されました。

ワーキンググループでの検討内容

- 1 高次脳機能障害について当事者・家族への説明に利用できる医療機関用リーフレットの作成
- 2 高次脳機能障害の支援が可能な医療・相談機関の情報を紹介する支援マップの作成

愛知県における高次脳機能障害者の支援体制図



3 高次脳機能障害の当事者の経過や必要な支援について、当事者支援者が情報共有するためのサポートノート作成

今後も当委員会で意見交換や取り

組みの検討を行い、高次脳機能障害の方に対する支援が広がっていくように、関係機関の方々と連携して専門相談、普及啓発、研修、ネットワーク強化のための活動を行っていきたくと考えています。